

講義名称	ミクロ経済学Ⅱ	担当教員名	松田 慎一
科目群	ビジネス		
科目区分等	理論経済	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	

授業のキーワード	家計、企業の経済行動、市場均衡、完全競争市場
授業の概要	ミクロ経済学は、家計や企業の合理的な意思決定に基づき、希少な資源の配分を決める学問です。ミクロ経済学Ⅰを履修済みであり、その知識と多少の数学の前提の下、講義を進めます。
期待される学習成果（目標）	1. ミクロ経済学の考え方を理解できる。 2. 家計や企業の行動、市場の仕組みについて説明できる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	授業概要の説明と、ミクロ経済学とはどのような学問であるのかについて解説します。
2	需要と供給	ミクロ経済学基礎の確認を行います。
3	均衡と市場メカニズム	ミクロ経済学基礎の確認を行います。
4	消費者の構想（1）	消費者の予算制約について説明をします。
5	消費者の構想（2）	消費者の効用、無差別曲線について説明をします。
6	消費者の合理的な選択とは	消費者の最適消費について説明をします。
7	所得と価格の変化	最適消費と所得や価格の変化について説明をします。
8	需要の価格弾力性と所得弾力性	価格弾力性と所得弾力性について、より詳細な説明をします。
9	企業の行動	企業の経済行動について説明をします。
10	企業の利潤と利潤の最大化（1）	企業の利潤最大化行動について説明をします。
11	企業の利潤と利潤の最大化（2）	企業の合理的な選択とは何かについて説明をします。
12	損益分岐点と操業停止点（1）	損益分岐点と操業停止点の経済的な意味について解説を行います。
13	損益分岐点と操業停止点（2）	損益分岐点と操業停止点の経済的な意味について解説を行います。
14	完全競争市場	完全競争市場とは何かについて説明をします。
15	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。

定期試験	授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
評価方法	授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点により評価します。
使用する教科書（必ず購入してください）	必要に応じて資料を配布します。
参考文献	スティグリッツ・ウォルシュ『ミクロ経済学』第4版 東洋経済新報社 マンキュー『マンキュー経済学（1）ミクロ編』第3版 東洋経済新報社 伊藤元重『ミクロ経済学』第2版 日本評論社